

こっこめ通信 07 2002

八丈島ではアカコッコの事を親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

「うみがめ・ウミガメ・海亀・Turtle」号

6月11日に梅雨入りしてから、空梅雨かと思っていたところ、下旬にはしっかりと梅雨らしい天気が続きました。しかし、もうすぐ梅雨明け、夏がそこまで来ています。6月27日にはツクツクホウシが鳴き始めました。7月23日からは、島の夏祭りも始まります。島もそろそろ夏モードに入ってきています。ビジターセンター主催の夏休み体験プログラムも決まり、あとは台風の少ないことを祈るばかりですね。さて今月は、アカウミガメの産卵と島で見られるウミガメのお話をお送りします。

アカウミガメの産卵

6月22日底土海岸にてアカウミガメの産卵がありました。この浜は、3年前の1999年6月26日にアカウミガメの産卵があった場所です。以前八丈島では、末吉地区の汐間海岸に砂浜があり、ウミガメが産卵しに来ていたと聞いています。昔のように、これから毎年、産卵しに来てくれるとうれしいですね。

アカウミガメは一度に100個前後の卵を産卵します。産卵は2週間ほどの間隔で数回行われるので、底土に上陸したアカウミガメもまた産卵しに来る可能性があるかもしれません。また卵は8～10週間で孵化するので、運が良ければ子ガメに出会えるかもしれませんよ。



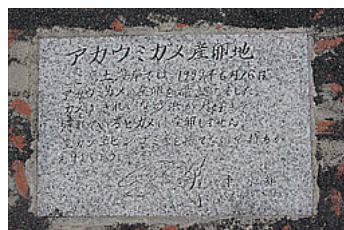
今回産卵のために上陸したアカウミガメもそうですが、アカウミガメの背甲には、フジツボなどの付着物が付いているのをよく見かけます。これは、幼時期に水面に浮かび背甲の上面を水面から出して静止していることが多いからだそうです。よく見ると他の種類のウミガメには付いてることが少ないですね。

右の写真はアカウミガメが産卵の後に海に戻った足跡です。



今回産卵が行われた場所には、卵の上を人が歩いて踏み固められないように、八丈支庁港湾課の方たちが柵を設置してくれました。卵が孵るまで温かく見守ってください。(下左写真)

また、底土海岸の浜に下りる階段には、1999年にアカウミガメが産卵した時の記念の石碑が埋め込んであります。(下右写真)



アカコッコとは日本の固有のツグミ科の鳥で国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島近海で見られるウミガメたち

日本では5種類のウミガメが見られますが、そのうち八丈島の周りで見られるウミガメは下で紹介している4種類、その中の大半はアオウミガメとアカウミガメです。タイマイも以前は多くいたようですが、現在はあまり見ることはありません。また、オサガメも確認の記録がある程度で、見られると言えるほどではありません。

では、八丈で見られるウミガメの見分け方をちょっとお教えしましょう。見分けるポイントは背甲の形や数、頭部の前額板（下図頭部の太い線の部分）、爪の数などよく見ると違うところが多いことに気が付きます。下のウミガメの図は、およその大きさの比較で書いてあります。

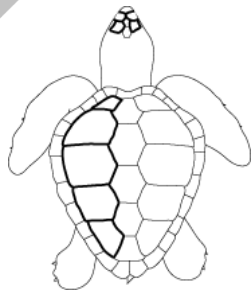
アカウミガメ

Caretta caretta

背甲は、赤褐色でだ円形、一番幅の広いところは前寄りにあります。

頭にある前額板は2対(4つ)、背甲にある肋甲板は5枚、前肢と後肢には2個の爪があります。

沿岸に生息し、貝・甲殻類をはじめとして多様なものを食べています。

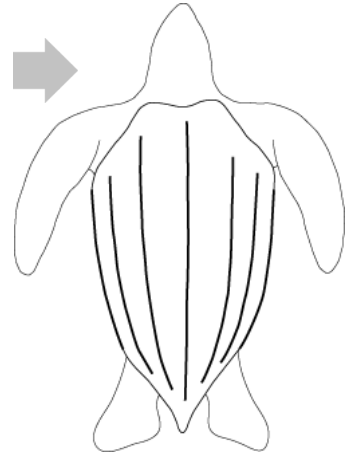


オサガメ

Dermochelys coriacea

背甲は、他のウミガメと違い、7本のキール状の隆起があります。甲が軽いので泳ぎに優れ、高速で泳ぐことができます。前肢と後肢には爪がありません。

赤道を中心とした全世界の熱帯から亜熱帯に生息し、海流に乗って北上することもあります。



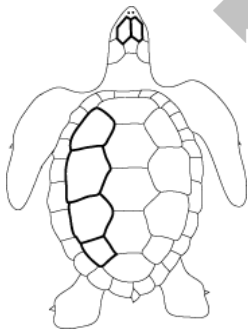
アオウミガメ

Chelonia mydas

背甲は、初めは青みがかった黒で、大きくなると暗褐色がかかります。

頭にある前額板は1対(2つ)、背甲にある肋甲板は4枚、前肢と後肢には1個の爪があります。

比較的浅い海で植物を食べます。島の周りではテングサ類を食べるようです。

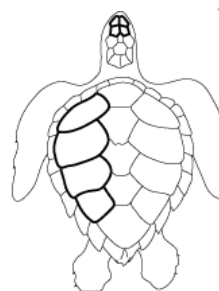


タイマイ

Eretmochelys imbricata

背甲は、黒褐色から赤褐色で、淡黄色の放射状の斑紋があり、べつ甲として使用されていました。頭にある前額板は2対(4つ)、背甲にある肋甲板は4枚、前肢と後肢には2個の爪があります。

サンゴ礁域に生息し、稀に温帯でも見られます。



八丈島でウミガメを見よう！

八丈島の周りでは、たくさんのウミガメたちを見ることができます。

ダイビング中には岩陰で休んでいるカメやゆっくりと泳いでいるカメが見られます。しかし、カメに近づくとものすごい速さで泳いでいってしまいます。陸のカメは歩くのが遅いですが、ウミガメが泳ぐスピードは、とっても速いのです。

磯や栈橋で釣りをしていると呼吸のため水面に出てきたカメを見ることがあります。時には針に掛かってしまうことも



あるようですね。また、海岸で海を眺めていると水面にカメを見ることがあります。

ウミガメに逢いに海へと出かけてみてはいかがでしょうか？

また、島の中には以前に漁で捕まえたカメを剥製にして飾っているところもあります。ほとんどの剥製はアオウミガメですが、水産試験場にはオサガメ、アカウミガメ、タイマイの剥製があります。ビジターセンターの中にもありますがさて、なにウミガメでしょう？

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは毎月第二日曜日に八丈植物公園季節調査会を開催しています。この行事は、植物公園内の生き物で季節を感じようという趣旨です。毎回、見られる植物がどのように変化していくのか、またどんな鳥や昆虫が見られるか観察しています。

今回は6月9日に観察会を行いました。下の表が調査記録です。

八丈植物公園季節調査			(平成14年第6回)		
平成14年6月9日(日) 13時30分～15時					
参加者・石川、菊池、田崎、青柳、伊藤、落合、菊池、奥山、V.C.菊池					
NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
	草 本			シダ植物	
1	ヒナギキョウ	花と実	1	タマシダ	
2	ニフゼキショウ	花と実	2	オニヤブソテツ	
3	ドクダミ	花	3	ホシダ	
4	チチコグサ	花と実	4	ノキシノブ	
5	ハハコグサ	花と実	5	ヒトツバ	
6	カタバミ	花と実	6	タチシノブ	
7	コマツヨイグサ	花と実	7	オオタニワタリ	
8	ツメクサ	実	8	ハチジョウカナワラビ	
9	ハナイバナ	花と実	9	オクマワラビ	
10	オランダミミナグサ	実	10	ハチジョウシダ	
11	シロバナマンテマ	花と実	11	カニクサ	
12	マメグンバイナズナ	実	12	イシカグマ	
13	アシタバ	花	13	ナチシケシダ	
14	オニドコロ	花	14	ミゾシダ	
15	コケミズ	実	15	ミウライノデ	
16	アオノクマタケラン	花	16	ヘゴ	
17	シチトウスミレ	閉鎖花	17	ナンカイイタチシダ	
18	コケリンドウ	咲き残り			
19	オオニフゼキショウ	花と実			
20	コメツブツメクサ	花と実			
21	ネジバナ	花		木 本	
22	ヒメジョオン	花	1	アカメガシワ	雄花、雌木に実
23	ヒメコバンソウ	実	2	オオシマザクラ	熟した実
24	ウスベニニガナ	花	3	タイミンタチバナ	実
25	ハルジオン	咲き残り	4	マンリョウ	蕾
26	ヒメクグ	実	5	ハチジョウイボタ	花
27	チガヤ	種	6	オオムラサキシキブ	蕾
28	オオバコ	実	7	モッコク	咲き始め
29	コセンダングサ	花と種	8	ヒメユズリハ	実
			9	ホルトノキ	蕾
			10	イヌビフ	花と実
			11	ヤマモモ	熟した実
				今回は植物57種を観察しました。	
				次回調査は7月14日(日)です。	
※ビジターセンターでは八丈植物公園の季節変化の公開調査を月1回程度行なっています。					
興味のある人は窓口でお問い合わせください。					
植物の名前をこれから覚えたいと思っている人など大歓迎。					

八丈島では、内地とは少し様変わりした種や独自に進化した種など聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、植物公園内でも見ることができる「ヘゴ」にスポットを当ててみたいと思います。



ヘゴ *Cyathea spinulosa*

八丈島が自生の北限になっている木生のシダ植物。三原山の大川上流や鴨川上流はヘゴ自生北限地として国の天然記念物に指定されています。

ヘゴの幹は細い茎の周辺を不定根が覆い、保水性があり、茎を乾かさないようにしています。

植物公園の中にあるヘゴは移植したもので自生していたものではありません。

2002 八丈ビジターセンター 7 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
 この色の日は 特別行事があります	1 08:10 02:58 ZZ:00 14:57	2 09:08 03:58 ZZ:40 15:39	3 10:32 05:11 ZZ:28 16:31	4 12:27 06:26 17:39	5 00:21 07:28 14:08 19:01	6 01:13 08:18 15:17 20:16 ガイドウォーク
小暑 7 ガイドウォーク	8 02:42 09:41 16:52 22:02	9 03:22 10:21 17:33 22:44	10 04:02 11:01 18:13 23:23	11 04:43 11:42 18:52	12 05:25 00:03 19:30 12:24	13 06:11 00:45 20:08 13:06 ガイドウォーク
14 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 06:59 01:29 20:45 13:49	15 07:53 02:19 21:21 14:33	16 08:56 03:15 21:57 15:18	17 10:16 04:22 ZZ:37 16:07	18 12:04 05:37 23:23 17:07	19 14:01 06:53 18:26	20 00:20 07:59 15:28 19:58 ガイドウォーク
21 ガイドウォーク 三原山縦断 トレッキング 01:23 08:55 16:27 21:13	22 ガイドウォーク 02:22 09:43 17:11 22:08	大暑 23 ガイドウォーク 03:14 10:25 17:48 22:50	24 ガイドウォーク 04:01 11:04 18:21 23:27	25 ガイドウォーク 04:42 11:40 18:50	26 ガイドウォーク 05:21 00:00 19:16 12:14	27 ガイドウォーク 八丈学講座 「川の生き物観察会」 夜の昆虫観察会 05:59 00:32 19:41 12:46
28 ガイドウォーク 06:36 01:05 20:05 13:17	29 ガイドウォーク 07:15 01:41 20:29 13:48	30 ガイドウォーク 07:57 02:21 20:55 14:18	31 ガイドウォーク 08:47 03:07 21:24 14:51			

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じよう。
7/14（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

三原山縦断トレッキング

防衛道路から三原山頂部、唐滝を通り、下りてくるコースを取ります。
7/21（9:00～ 約6時間）
小学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：1000円 定員：20名

八丈学講座 「川の生き物観察会」

八丈島をもっとよく知るための講座。今回は「川の生き物観察会」です。
7/27（13:30～ 約1時間半）
小学生以上 鴨川ホテル水路 集合・解散 参加費：100円 定員：15名

夜の昆虫観察会

夜の植物公園で、いろいろな昆虫を探して観察してみよう！
7/27（19:30～ 約1時間半）
小学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：100円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ 八丈・四季・人・自然

14:00～ 八丈・四季・人・自然

15:00～ 八丈・四季・人・自然

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2002.7.1 第14号

開館時間 9:00～16:30 年中無休（無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは、「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）